

学部の専門性と語学を伸ばす GCPだからできる学び



田口 敏広
平和を構築する世界のリーダーに

経済学部経済学科3年

大阪府 私立・関西創価高等学校

高校卒業前、高校生活を振り返ったとき、自分が本気でやり切ったと言えるものが無いことを後悔しました。それから、「なんのために大学に行くのか」を真剣に考え、自分は勉学するために大学に入ろうと決意しました。創価大学で世界に通用する実力をつけたいと思いGCPを志願しました。



生駒 比奈子
子どもの人権問題解決に尽力

法学部法律学科2年

広島県 県立・広島高等学校

子どもたちの教育を受ける権利を守りたいという夢から、世界に通用する英語力と問題解決能力を身につけるためにGCPを希望しました。GCPは英語力やリサーチ力、論理的思考能力を高められるだけでなく、1人1人が世界平和にどう貢献していくかを真剣に考える機会にもなります。



林 磨弥
観光で日本と世界の架け橋に

文学部人間学科3年

東京都 私立・国立音楽大学付属高等学校

私がGCPに入ろうと思った理由は、グローバルな視点で社会に貢献したいという想いからでした。GCPでは、切磋琢磨し合う中で多角的に考察する力や世界に通用する英語力が養われます。GCPで培った力を生かして、将来は観光という視点から日本と世界を結ぶ人になりたいと考えております。



黒崎 あい
人々の健康な生活を支える人材に

経営学部経営学科4年

広島県 市立・福山高等学校

GCPは志高い学生と互いの専門性を活かし学びあうなかで、多角的な視点、様々な思考を受容する力を養う場です。将来、私はGCP海外研修で得た“ヘルスケアに携わり、人々の健康のために尽力する”との想いを必ず実現していきます。



西澤 伸之
地球市民を輩出していく教育者へ

教育学部児童教育学科2年

東京都 私立・創価高等学校

学外の国際会議などに積極的に参加し、活躍している先輩や、フィリピン研修でのフィールドリサーチなどに魅了されGCPに希望しました。地球市民となる人材を送り出す教育者を目指し、高い志を持った仲間と互いに切磋琢磨し合い、自身の可能性を広げていきます。



木村 佳樹
宇宙開発に貢献できるエンジニアに

工学部環境共生工学科4年

岡山県 県立・瀬戸高等学校

GCPは学部の専門性を深めると同時に、高度な語学力・批判的考察力を習得する場です。ストイックに勉学に励みたいという学生には最適の環境です。将来は、GCPでの学びを活かして日本の宇宙開発事業の発展に貢献できる研究者になりたいと考えております。

発行日:平成28年(2016年)5月1日

グローバル・シティズンシップ・プログラム事務室(総合学習支援オフィス学習支援課内)
ホームページ:<http://sgcp.soka.ac.jp> TEL:042-691-7009 FAX:042-691-6941 メールアドレス:sgcp@soka.ac.jp
お問い合わせ時間:月~金曜日 9:00~17:00 /土曜日 9:00~12:00

平成29年度 募集要項

グローバル・シティズンシップ・プログラム



GCPで磨く

語学力

2年間で英語力が飛躍的にUP!

1期生から5期生(152名)の9割の学生がTOEFL550点、TOEIC800点以上達成、3割の学生がTOEIC900点以上を取得。



酒井 光一
(文学部人間学科卒業 大阪府 私立・関西創価高等学校)

TOEIC 930、iBT 97、ITP 627、IELTS 7.0

オクスフォード大学大学院、ヨーク大学大学院、
リバプール大学大学院、ロンドン大学大学院合格。

高校時代に英語を最大の苦手科目としていた私にとって、英語力を徹底して磨くGCPの3期生に選抜されたこと自体が大きな驚きでした。実際に英語の授業が始まってみると、教員の指示を聞きとることにすら苦勞し、また言いたいことがあっても上手く表現できずに何度も悔しい思いをしました。そんな中ある先生が私に、「その悔しさを忘れず、バネにして努力することが大切」と励まして下さったことをよく覚えています。

その言葉に再度挑戦の炎を燃やした私は、授業や課題以外にも英語のニュースを見たり、同期の友人と会話練習を行ったりと工夫して勉学に取り組むようにしました。また、授業中の議論にも間違いを恐れず積極的に参加するようになりました。その結果、いつしか授業でも自信をもって発言できるようになり、2年間でTOEICのスコアを450点以上向上させることができました。3年次の夏に縁あってトルコで発掘調査に参加した際にも、語学を理由に委縮することなく、世界各地から集った研究者の方々と交流し議論することができました。

本年9月からは、入学当初の念願を叶えてイギリスの大学院で考古学を学ぶ予定です。こうして夢への一歩を踏み出すことができるのも、GCPで語学力を身につけられたお陰です。世界トップの学生たちと切磋琢磨しながら、今後も更に力を伸ばしていきたいと思えます。

プログラムゼミ

世界にはばたく力を養う!

1年前期
プログラムゼミ I
キャリア&
リーダーシップ

リーダーシップ力、
ビジョンの形成力
を磨く

チュートリアルと併せて自身の最適なキャリア形成と進路を計画



1年後期
プログラムゼミ II
ベーシック・
リサーチ

リサーチ力、
プレゼンテーション力
を磨く

1年次2月に行う海外研修のなかで実地調査を実施



2年前期
プログラムゼミ III
ポリシー・
スタディーズ

問題発見力、
「チームで働く力」
を磨く

各国で開催される国際会議に日本代表として参加し、発言



2年後期
プログラムゼミ IV
グローバル・
イシューズ

問題解決力・
提案力
を磨く

2年次12月に公開成果報告会を開催し、社会に対して提案



創大の人間教育を 「世界」に発信

留学

交換留学・国際奨学金で 100名の留学が決定!

1期生20名(32名中)、2期生21名(27名中)、
3期生23名(31名中)、4期生22名(34名中)、
5期生14名(25名中)が、24か国・地域への
交換留学生・国際奨学生に選ばれました。

アメリカ デラウェア大学へ 留学



宮本 尚子 (経済学部経済学科4年 東京都 私立・創価高等学校)

TOEFL iBT 103点

世界中の人が毎日安心して食料を得られる世界をつくりたい。そのために今は、語学と専門分野、両方の実力を着実につけて、自分の力を最大限に伸ばすとき!—そんな志と共に私のGCP生活がスタートしました。それまでの人生の大半を課外活動に費やしてきた私にとって、勉強を通して見た自分と真摯に向き合い続けることそれ自体が挑戦の日々でした。しかし、自分の力を信じ抜き支え続けてくださる先生方、そして、同じように挑戦し進み続けるGCPの仲間たちが、何度も私を奮い立たせてくれました。

私は現在、交換留学生としてアメリカのデラウェア大学に学んでいます。この大学には100以上の学部が存在し、各分野に情熱をもって学んでいる学生との触れ合いは非常に刺激的です。また、途上国を含む諸外国への短期留学制度も充実しており、私自身さらに新しい世界に飛び出して、その実態に基づいて学ぶことの大切さを実感しています。

GCPを通して得た英語力、思考力、努力し続ける姿勢、そして、いつもともに前進し続ける仲間たちが、世界のどこにいても、私の可能性を広げ続けさせてくれます。どこまでも私らしく、感謝と志を胸に、地球市民として世界に羽ばたいていきます。

世界に広がるGCP生の留学先

- ◆北南米 **アメリカ**: デラウェア大学、ジョージ・メイソン大学、マサチューセッツ州立大学、ジョージア州立大学、ケネソー州立大学、メアリー・ボールドウィン大学、アメリカ創価大学、**カナダ**: プリンズ・エドワード・アイランド大学、カルガリー大学、**ブラジル**: パラナ連邦大学
- ◆ヨーロッパ **フランス**: ノバンシア大学、**オーストリア**: クラーゲンフルト大学、**イギリス**: ウェストミンスター大学、クイーンズ大学ベルファスト、パーミンガム大学、**ブルガリア**: ソフィア大学
- ◆アジア・オセアニア **中国**: 北京大学、清華大学、厦門大学、上海大学、武漢大学、**香港**: 香港大学、香港中文大学、**韓国**: 慶熙大学、成均館大学、**フィリピン**: フィリピン大学、デ・ラ・サール大学、アテネオ大学、**タイ**: タマサート大学、チェラロンコン大学、**インドネシア**: インドネシア大学、**マカオ**: マカオ大学、**マレーシア**: マラヤ大学、**インド**: デリー大学、**ネパール**: トリブバン大学、**ベトナム**: ハノイ国家大学、**オーストラリア**: シドニー大学、ラ・トロープ大学、**ブルネイ**: ブルネイ・ダルサラーム大学
- ◆アフリカ **ケニア**: ナイロビ大学、アメリカ国際大学、**南アフリカ**: ウィットウォーターズランド大学

国際 会議

日本代表として 国際会議に出席し、 世界に発信!

GCPで培った英語コミュニケーション力、課題設定、問題解決力を活かし、これまでにノーベル平和賞受賞者世界サミット、日米学生会議、など数多くの国際会議に学生日本代表として参加しています。

ノーベル平和賞受賞者世界サミットに参加

2015年11月にスペインのバルセロナで開催された「第15回ノーベル平和賞受賞者世界サミット」(以下「世界サミット」)に、若林勇人さん(経済学部4年)、米田賢司さん(経済学部4年)、足立真優さん(文学部4年)、佐藤幸恵さん(文学部4年)、古賀広之さん(教育学部4年)、小林良美さん(法学部3年)が世界青年代表団の一員として参加しました。GCP生の参加は、2010年に広島で開催された「第11回世界サミット」以来毎回続いており、「世界サミット」では、ノーベル平和賞受賞者をはじめ世界から集った青年代表団らと交流を深め合っています。



ペティ・ウィリアムズ女史と交流を深めるGCP生たち

TOMODACHI MetLife Women's Leadership Programに参加

2015年3月に米国ワシントンD.C.とニューヨークで開催されたTOMODACHI MetLife Women's Leadership Programに、塩田貴子さん(法学部2年)が参加しました。プログラムは2014年9月より、月1回のセミナーを重ね、アメリカでは、財界リーダーや政府関係者によるセミナーへの参加、アメリカの大学生とのグループディスカッション、政策提案プレゼンテーションを行いました。

TOMODACHI MetLife Women's Leadership Programは、在日米国大使館が主導する次世代の女性リーダーを育成するための取り組みであり、GCPからは2013年に鬼木生子さん(経済学部4年)、2014年に宮本尚子さん(経済学部4年)、池田桜さん(法学部4年)、小野里由香さん(教育学部4年)が参加しました。



TOMODACHI MetLife Women's Leadership Programに参加する塩田貴子さん

STeLA Leadership Forumに参加し、 チームで最高評価を獲得

2015年8月に北京で開催されたSTeLA Leadership Forumに三田部直樹さん(理工学部3年)が参加しました。STeLA (Science and Technology Leadership Association)は、科学・工学分野の世界トップクラスの大学から学生が参加し、リーダーシップ力の向上、世界的な課題に対し異文化対話を促進することを目指しています。また、社会に貢献する製品を開発するプロジェクトでは、三田部さんのチームが最高評価のOverall Winner 賞を獲得しました。2014年には平良正和さん(理工学部卒業)も参加をしました。



STeLA Leadership Forumに参加し表彰される三田部直樹さん(右端)

GCP生が参加した主な国際会議・日本代表団

ノーベル平和賞受賞者世界サミット、G8世界サミット、世界大学総長協会横浜総会、国際開発コースフォーラム、国連防災世界会議Children & Youth Forum、日米世界学生会議、日露学生フォーラム、COP学生会議、日中韓ユースフォーラム、日中学生会議、日本アフリカ学生サミット、ハーバードアジア国際関係プロジェクト、内閣府国際青年育成交流海外青年派遣、内閣府グローバルユースリーダー育成事業、他

キャリアに強いGCP

語学力×専門性

進路

2016年3月までにGCP3期生までの68名が卒業しました。進路先はプログラムゼミやチュートリアルを通して磨いたキャリア形成力と、高い語学能力、専門性を活かし、国内外の大学院、公務員(国家・地方公務員)、企業と各人の最適な進路選択をしています。

大学院 約4割が国内外の大学院に進学

主な実績として、東京大学、京都大学、大阪大学、広島大学、創価大学の大学院への進学が決定しています。



シドニー大学大学院

若林 勇人 経済学部経済学科卒業

私は、将来エコノミストとなり、世界の貧困問題に貢献することが目標です。そのため、大学卒業後は、経済学という武器を身につけ、さらにグローバルな環境で活躍することができるよう、海外大学院へ進学します。海外大学院を受験、合格するにあたって、英語力はもちろんのこと、高度な経済学を学ぶ上で必要である論理的・批判的に物事を考える力、リサーチ能力など、GCPで徹底的に鍛えたことが活かされました。



沖縄科学技術大学院大学

平良 正和 工学部生命情報工学科卒業

私は、神経生物学の観点から精神病のメカニズムの解明に貢献したいと思い、大学院への進学を希望しました。GCPという徹底的に英語を学ぶことのできる環境のおかげで、英語で研究論文を読むことや研究についてのプレゼンテーションやディスカッションをすることに自信を持って取り組むことができ、国際的な環境の大学院への進学も可能になりました。皆さんもGCPでの学びを通して自分の可能性をさらに開いていってほしいと願っております。



創価大学 法科大学院

杉本 勝 法学部法律学科卒業

法的支援を必要とする方々に寄り添える法律家になりたいとの思いから、弁護士を志しました。大学卒業後は、確かな法律力を習得し司法試験を突破するため、法科大学院へ進学します。GCPで培った英語力と目標を設定・修正して粘り強く努力する姿勢は、大学院入試で大きな強みとなりましたし、今後の法律の勉強にも活かせると確信します。また、高い志を持ったGCP生の繋がりは、どんな時も自分を鼓舞してくれる一生の宝となりました。

公務員 毎年難関の外務省、政令指定都市試験に合格

これまでに外交官(3名)と横浜市職員(3名)世田谷区職員(1名)を輩出しました。



外務省専門職員

川畑 暁絵 法学部法律学科卒業

安全保障、経済、人的交流など様々な分野から包括的に日中関係に携わりたいと思い、外務省専門職員を志望しました。GCPの二年間では、高い志を持つメンバーと切磋琢磨しながら、英語力だけでなく、グループプロジェクトを通し、課題発見・解決力、論理的思考力を鍛えました。GCP時代に培った、これらの基礎力と忍耐力、そして、物事を幅広い視点から捉え総合的に判断する力が自身の強みとなり、進路を勝ち取ることができました。



東京都 公立小学校教員

若井 美咲 教育学部教育学科卒業

GCPでの学びや教育学部の勉強、ケニアへの留学やアウェイ体験を通して、社会的に弱いとされる立場の人々の味方となって声を聞きながら、教育の分野で社会を変えたいと思うようになりました。教育に貢献していくためにと教師を目指したきっかけは、先師の「経験より出発せよ」という指針です。GCPでの葛藤の中で教えてもらった「自分の可能性を信じ挑戦し続けること」と「勇気」を子どもたちに伝え、共生の未来を生きる地球市民たちを育てていきたいです。

グローバル企業から内定

次々と難関のグローバル企業からの内定を獲得しています。



大手エネルギー会社

岩城 温子 文学部人間学科卒業

GCPフィリピン研修や1年間の中国への交換留学を通し、生活水準の格差を生み出す要因である社会インフラに関心を抱くようになりました。そして、その中でも世界情勢とより密接に関わり、ダイナミックな働き方ができるエネルギー業界を志望しました。選考では3か国語の習得や問題解決能力、リーダーシップ等のGCPでの学びの成果が生かされ、夢への第一歩を踏み出すことができました。GCPで培った力を存分に発揮し、今後もさらなる挑戦を重ねていきます。



プライスウォーターハウスクーパース株式会社

平野 光城 経済学部経済学科卒業

企業の課題解決や成長に貢献できる働き方に魅力を感じて、当業界を志望しました。コンサルティング業務は何か特定の商品を持つ訳ではなく、自身の能力・思考力に対して対価が支払われる点が特徴的です。物事を深く、論理的かつ多角的に考え、議論し抜いたGCPでの経験がまさに活かせると思います。グローバルに働く環境もあるため、GCPで培った語学力を活かして、世界を舞台に社会に貢献できる地球市民として、活躍していきたいと思っています。

GCPの5大特徴

GCPは、いくつかの単位振替はあるものの、将来国際社会等での活躍を目指す学生に、既存の教育課程とはまったく異なる科目を提供するものです。それは以下の5つの特徴を有しています。

1 それぞれの学部にも所属したまま参加できる学部横断型プログラム

GCPは創価大学の一部の学部にも所属する学生のみが対象ではなく、経済・経営・法・文・教育・理工学部の6学部を対象に学生を選抜します。定員は約30名と、決して多くはありませんが、入学したそれぞれの学部にも所属したままの参加となります。従って、本学の一組織や一部の教員だけがGCPに関わるのではなく、創価大学全体で皆さんをサポートします。また、それぞれの学部の学生が集まることで、多様性が育まれることを期待しています。

2 徹底した英語教育で世界に通用する英語力を養成、海外研修には奨学金給付(返還不要)により全員が参加

GCPでは独自の集中英語講座で海外大学院留学レベルの英語力と国内外一流企業や国際機関に就職する際に求められる高度な英語コミュニケーション能力の修得を目指します。入学後、最初の2年間で集中的に週4回(2科目×週2回)の授業を履修し、徹底的に英語脳を鍛え、英語圏の大学院進学時に求められるレベルの読解力・ライティング能力・論理的思考力・ディスカッションやプレゼンテーションの技能などを総合的に磨きます。

さらに、GCP受講者全員に、海外研修費用として返還不要の奨学金が給付され、全員が海外短期研修に参加します。GCPの海外研修では、開発途上国を訪問し、政治・経済・環境・教育など、開発途上国がかかえる様々な問題についての講義を英語で受け、貧困地域の学校・施設を訪問し、開発・環境・教育問題の現状について理解を深めていきます。

3 社会システムを読み解く力— 数理能力をトレーニング

国際社会や一流企業で活躍するためには、日々蓄積される膨大かつ多種多様なデータを効率的に活用し、集計や検索、高度な分析などを、スピーディーに処理できる能力が不可欠です。「社会システム・ソリューションI」では、社会の現状を把握し、意思決定を行うために必要なデータ分析能力を修得します。また、「社会システム・ソリューションII」では、日々激しく変化する社会システム、経営システム、情報システムなどに立ち向かうため、種々の問題発見とその解決方法に関する数理的基礎知識を身につけます。

4 独自ゼミでグローバルに活躍する人材を育成

セメスターごとにそれぞれ独自のゼミが設けられ、2年間で4つのゼミを学びます(→詳細は3ページ)。

5 4年間にわたる少人数制によるきめ細かい指導と「建学の精神」の深化

学生一人ひとりの学問分野や進路に合わせて、専任教員が、4年間きめ細かく個別指導を行います。まず入学してから2年次が終わるまでは、「進路を模索し、歩む道を見つける2年間」です。教員1人あたり5~10名の少人数体制を組んで、週に一度の集まり(チュートリアル)や個別相談・指導等を通して、学生生活を全力でサポートしていきます。そしてこの2年間で身につけたスキルを携えて、いよいよ3年次以降は、学生一人ひとりが具体的な進路を勝ち取り、社会に貢献する創大生に成長する時、すなわち「進路を決定して、夢を実現する2年間」を迎えます。ここでは、就職や公務員試験、あるいは海外大学院への進学等、多様な進路に最も適切な経験を有した教員のもと、進路を勝ち取る準備を重ねていくこととなります。

「創造的人間」と ミッションステートメント

21世紀に入り、これまでの価値観や既存の枠組みが世界的規模で加速度的に変化を遂げています。こうした時代にあって、創価大学はどういう人材を輩出すればいいのか。大学での教育がこれまでのように特定の専門知識の伝授にとどまってはなりません。私たちは日々思索を続ける中でひとつの結論を得ました。それは、今求められるのは、刻々と変化する厳しい現実と挑戦し、知識を生かしながら、問題を解決するために自在に智慧を発揮していく人間です。そうした人間を「創造的人間」と考えます。

「創造的人間」とは第3回入学式(1973年)で、創立者池田大作先生が創大生が目指すべき姿として示された指針です。建学の精神を具体的に表現した「創価大学ミッションステートメント」では、本学が輩出するその人材像を右記のように表明しました。

創価大学では「人間教育」を目指し、豊かな人間性を基盤として、人類が直面する個々の問題に真摯に取り組み、智慧を発揮していく創造的人間を育成します。求められるべきは、真の「教養」をそなえた地球市民としての創造的人間にはかたまりません。

地球市民とは、智慧と勇気と慈悲の人といえるでしょう。人種や民族や文化の差異を尊重し、理解し、成長の糧とする勇気。遠いところで苦しんでいる人々にも同苦し、連帯していく慈悲。その勇気と慈悲の心から、智慧は限りなく湧いてきます。創価大学は、地球市民すなわち創造的人間の連帯をもとに新たなる地球文化建設の揺籃たることを目指します。

「創価大学ミッションステートメント」より抜粋

3つの「S」と「地球市民」

創価大学ミッションステートメントで謳われている、智慧、勇気、慈悲の3つの要件を有した地球市民(Global Citizenship)とは、言い換えれば、スピリット(Spirit / 精神性)・スキル(Skill / 技術・方法)・サービス(Service / 奉仕・貢献)の3つ(3S)を高いレベルで有している人材であると、私たちは考えています。

スピリット(Spirit / 精神性)とは、世界を志向し、世界の平和と人々の幸福を願う心です。そのためには様々なスキル(Skill / 技術・方法)を身につけることが必要不可欠になります。そしてサービス(Service / 奉仕・貢献)です。決して自己の利益にとどまることなく、獲得したスキルを智慧に変え、世界平和のため、人々の幸福のために貢献する勇気と行動、リーダーシップがあってこそ、スピリットもスキルも現実社会の中で大きく生きてくるのです。

GCPは、これらの要件を満たした地球市民の輩出を目指しています。そのために本プログラムでは、後述する5つの取り組みを通して皆さんの成長をサポートします。

将来、国際社会(国際的企業、国際協力機関など)を舞台に活躍したい、海外大学院に進学したい、国家公務員や国内企業を目指したい—そうした強い志をもつ学生を全力で応援するのがこのプログラムです。

グローバル・シティズンシップ・プログラム
Global Citizenship Program



GCP 6期生からのメッセージ 法学部法律学科2年 宮地 未樹 佐賀県 県立・鳥栖高等学校



GCPは将来国際社会で活躍するために、実践的な英語力や数理処理能力、プレゼン力など様々な能力を身につけることのできる場です。ですが、それゆえに様々な困難に直面し、多くの努力や挑戦が求められる場でもあります。しかし、GCPの常に応援して下さる先生方や相談に乗ってくださる先輩方、そして、共に努力を続け、言葉だけでなくその姿で常に励ましを送ってくれる同期の仲間のおかげで、私は困難を乗り越えることができたと感じています。GCPはそういった経験を通し、スキルだけでなく人間的にも成長できる場であることも魅力のひとつです。皆さんも私達と共に挑戦の大学生活を送ってみませんか!

GCP 6期生からのメッセージ 経済学部経済学科2年 坂口 智春 大阪府 私立・関西創価高等学校



GCPでは、国際教養と看護を除くすべての学部から学生が集い勉強をします。そのため、それぞれに多種多様な意見があり、一つのことを多角的に考察するという点において、実践的なプログラムです。また、先生方の手厚いサポートがあり、いつも勉強にひたむきに向かう学生ばかりで刺激が多い環境です。英語を学ぶ機会はもちろん、世界市民とは、リーダーシップとは、というような問いを考察し、深めています。将来、英語を使って働きたい人や国際的な職に就きたい人は是非GCPに入ってください。会えるのを楽しみにしています。

GCPでは、1年次終了時に給付型奨学金による海外短期研修を実施します。6期生は、平成28年2月6日より21日までの2週間、フィリピンのキャピトル大学、フィリピン大学、アテネオ大学、デ・ラ・サール大学等で研修を行いました。

生きた英語を学び、即戦力の英語コミュニケーション力を鍛える

海外研修は、実践的な英語コミュニケーション力を磨く絶好の機会です。今回の研修では、GCP生はキャピトル大学をはじめ、フィリピン大学、アジア開発銀行などにおいて、フィリピンの諸事情やグローバル化、開発途上国の問題に関する講義を英語で受講し、講義終了後には、専門的な分野に関する活発な質疑が繰り広げられました。また、キャピトル大学では、英語によるフィールド・リサーチを行い、質問調査やアンケートを収集し、リサーチの最終日には、GCP生がリサーチ結果を英語で発表しました。GCP1年間を通して身につけた英語力をさらに磨き、コミュニケーション力が一段と向上する研修となりました。



フィールド・リサーチを通し、アカデミック・スキルを高める

フィールド・リサーチは、1年次後期のプログラムゼミと連動し、アカデミック・スキルの向上を目指します。プログラムゼミでは、フィリピンの経済・文化・医療・行政・教育などの分野に関する課題テーマを設定し、事前に資料収集と分析を行いました。今回の研修は、日本での事前調査に基づき、企業や役所、病院、学校などでの調査を実施し、現実的視点に立脚した分析を行いました。調査に先立ち、調査手法とデータ分析、プレゼンテーションに関する講義を受け、各リサーチグループには、教員がメンターとしてサポートし、より一段と専門的かつ高度なリサーチスキルを修得することができました。



文化の多様性を学び、国際的な教養を修得する

異なる文化を理解し、尊重することは、地球市民にとって不可欠の資質の一つです。グローバル化が進む近年、様々な分野において国や地域間の交流が求められ、異文化と触れ合う機会が増えています。フィリピン大学の「国際化」に関する講義では、文化を「理解する」とは、その文化を形成した人々や国・地域の歴史を理解し、文化の起源と、現在の文化に至る過程を知ることであることを認識しました。研修の全期間を通し、GCP生は、異なる民族、宗教、文化、伝統と触れ合い、国や地域の持つ多様性を知り、その多様性を尊重する重要性を学び、地球市民に求められる素養を磨きました。



研修参加者の声



永峰 正一 (経営学部経営学科2年 大阪府 府立・高石高等学校)
私にとって、この研修は特別なものでした。というのもこの研修で自信をつけるとともに、自分の実力不足を実感することができたからです。フィリピン研修では、リサーチ力、分析力、プレゼン力などGCPの授業で学んだことを活かす機会が多くあり、そこで、英語力の向上などの成長を実感すると同時に、自分一人では何もできないという無力さを感じました。しかし、周りに支えられながら、また仲間と協力しながらリサーチに取り組む経験は、自分にとってかけがえのない財産になりました。ここで学んだこと、感じたことを今後の学生生活に活かし、将来世界に貢献できる人材へと成長していきたいです。

GCP 6期生からのメッセージ



文学部人間学科2年 野村 湧希 東京都 私立・郁文館高等学校
GCPは自分の将来に向けての原点を作ることが出来る場所です。毎週5日間ある英語の授業では、プレゼンテーションやディスカッション、そしてエッセイによって英語のスキル全体のトレーニングができます。その他にも、チュートリアルやプログラムゼミによって批判的思考や発想力を、後期から始まる社会システムソリューションではエクセルなどを用いた分析能力を鍛えることができます。GCPで学ぶことは全て自分の武器になります。学部の授業との両立などの困難も、共に夢へと向かう仲間や、心強い先輩方との対話によって必ず乗り越えることが出来ます。

1 GCPで開講される科目

GCPでは、右表の授業を開講しています。これらの授業は、放課後(5・6時限目※)を中心に開講しており、通常の授業と並行して本プログラムの科目を履修していきます。GCPを修了するためには、プログラム修了に必要な単位を全て修得する必要があります。

プログラム修了に必要な単位数には含まれていませんが、GCPではこれらの科目のほかに、長期休業期間を利用した海外短期研修などのプログラムを開講しています。なお、今後の社会システム・ソリューションの履修形態については変更の可能性があります。
※5時限目 16:35~18:05、6時限目 18:20~19:50

Global Citizenship Program 修了に必要な科目			
科目名	各セメスターで修得すべき単位数	開講期	プログラム修了に必要な単位数
チュートリアル	1単位	1~4年	8単位
プログラムゼミ	2単位	1~2年	8単位
社会システム・ソリューション	2単位	1年後期 2年前期	4単位
GCP英語	4単位 (2単位×2科目)	1~2年	16単位
プログラム修了に必要な単位数の合計			36単位

2 入学から卒業までの流れ

GCPは、6学部(経済・経営・法・文・教育・理工)に所属する学生を対象としています。したがって、GCPを受講する場合は、所属する学部が定める卒業に必要な単位を修得しながら、並行して本プログラムの科目を履修することになります。プログラム修了に必要な単位を全て修得すると、卒業時に、所属学部の学士号のほか、プログラム修了認定証が授与されます。

- ※所属学部の定める卒業要件は、学部により修得すべき科目や単位数が異なります。
- ※所属学部の定める卒業要件は、単位のほか、通算GPA(各科目の評定平均)が2.0以上であることが必要です。
- ※GCP科目は、共通科目の授業として開講されます。したがって、GCPで修得した単位は、各学部で定める卒業要件の「言語科目(英語)」、「共通科目」、または「自由選択科目」の単位として含まれます。
- ※一部のGCP科目については、GCP以外の所定の科目を修得することにより、GCPの修了に必要な単位として振替を行うことができます。



3 履修上の注意事項等

【教育職員免許状等の取得について】

GCPは、各学部に所属しながら参加するプログラムです。したがって、それぞれの学部を卒業することで与えられる資格(教育職員免許状等)を得るためには、各学部所定の科目を履修する必要があります。

GCP 6期生からのメッセージ



教育学部児童教育学科2年 遠藤 葵 東京都 私立・創価高等学校
世界中に暮らす子どもが平等に教育を受けられる環境を作りたいとの思いからGCPを志願しました。学部との両立やGCPでの課題は容易ではありません。しかし、GCPで学ぶ英語やアカデミックなスキルは、海外からの来賓やフィリピン研修などの経験を通し、世界市民になるための必要な知識だと痛感しています。そしてGCPに入ったおかげで世界平和というもの現実的に考えられるようになりました。また、一人一人が一生懸命に勉学に挑戦しているからこそ、一生涯の友情、先輩、先生に出会える場でもあります。GCPで共に自身の壁を破る闘いをしましょう!

セレクションポリシー (求める人材像)

今日の社会は、高度知識社会であり、グローバル化が急速に進展している社会です。こうした時代に生き、GCPで学ぼうとする学生の皆さんは、文系学部・理系学部であることを問わず、あらゆる知識を吸収しようとする意欲を持ち、論理的思考力や問題発見・解決能力、さらにはリーダーシップやコミュニケーション能力を身につけることが求められます。具体的にはGCPでは学生に次のことを期待します。

- 1** 学問を深く学ぶために必要な基礎学力を身につけている、もしくはそれを身につける努力をいとわず、文系・理系を問わず、あらゆることを学ぼうとする学問探究への強い意欲があること。
- 2** 与えられたカリキュラムの中だけで学ぶのではなく、そこから自らの関心の幅を広げ、自ら課題・問題を発見し、それを解決するための力を身につけようとする強い自主性を有していること。
- 3** 将来、国際的企業、国際協力機関、海外大学院、国家公務員や国内企業への就職などを進路として考えていること。
- 4** 海外留学や国際社会で通用するレベルの語学力(英語)を身につけることに強い意欲があること。
- 5** 現代の国内外の諸問題や、歴史・文化等に強い関心を持っていること。
- 6** これまでの諸活動などを通して、リーダーシップを発揮した経験や人々に貢献したという経験を持っていること。そしてこれからもリーダーシップの発揮や人々への貢献を志向していること。

GCPに応募する学生に求められているのは、学生時代に徹底して学ぼうという強い意欲と好奇心、思考力や応用能力、そして地球市民(Global Citizenship)の一員として、世界平和のため、人々の幸福のために貢献しようとする大きな志です。

出願資格・募集人員

- 出願資格

平成29年度入学試験(公募推薦入試・創価学園推薦入試・センター試験利用入試[前期3科目方式、4科目方式]・全学統一入試[2科目方式、3科目方式]・一般入試)の合格者でGCPの受講を希望する者。

※看護学部と国際教養学部は、出願の対象ではありません。

※GCPは、1年次から4年次までのトータルプログラムです。したがって途中年次からの受講はできません。

※選抜費用や入学後の受講費用はかかりません。ただし、GCP英語の一環としてTOEFL等の外部試験を受験する場合があります(自己負担/1回3,000円~4,500円)。

※出願資格についてご不明な点がある場合は、事前にGCP事務局(TEL 042-691-7009 FAX 042-691-6941 / e-mail:sgcp@soka.ac.jp)にお問い合わせください。
- 募集人員

約30名(ただし合格者が募集人員に満たない場合でも追加募集は行いません)

選抜方法

- GCPの選抜は、以下の2段階で行います。
- (1)第1次選抜
- ア. 本学合格通知関係書類の中にある[GCPエントリーシート](※下記エントリーシート縮小版を参照)と入学試験時の得点による総合評価で選抜を行います。エントリーシート提出期限は公募推薦入試:平成28年12月14日(水)・創価学園推薦入試:平成29年2月3日(金)・センター試験利用入試(前期3科目方式、4科目方式)、全学統一入試(2科目方式、3科目方式)、および一般入試:平成29年2月27日(月)、いずれも当日消印有効です。
 - イ. 第1次選抜の合格者は、約70名とします。
 - ウ. 第1次選抜の結果については、平成29年3月中旬頃に通知書を発送します。その際、第1次合格者には、第2次選抜のスケジュール等も送付します。

【エントリーシート】
(実寸はA3サイズ。右図は平成28年度版)



- エントリーシートの記入項目
- I 志望動機
 - II 積極的に取り組んだ事
 - III 語学力(資格・検定)
 - IV その他の資格・検定

※Ⅲ・Ⅳは裏づけとなる証明書のコピー(A4サイズ)を必ず同封すること。

- (2)第2次選抜(平成29年3月30日(木)予定)
- 第1次選抜合格者に小論文試験・面接試験・英語ライティング試験(与えられたトピックについて30分以内に約300語の英文にまとめる)を行います。またこれらの結果と4月入学直後、全新生に対して実施するプレイメントテスト(基礎学力判定テスト[数学・国語])・TOEIC-IPテストの結果を加味した上で、総合評価により選抜し、受講生を決定します。

選抜の流れ

入試の種類	公募推薦入試	創価学園推薦入試	センター試験利用入試 (前期3科目方式、4科目方式)	全学統一入試 (2科目方式、3科目方式)	一般入試	合格者数
第1次選抜 エントリーシート提出締切日 (締切日消印有効)	平成28年 12月14日(水)	平成29年 2月3日(金)		平成29年 2月27日(月)		約70名
第1次選抜合格発表	平成29年3月中旬頃、合格通知書を発送					
第2次選抜	予定:平成29年3月30日(木) 小論文試験 面接試験 英語ライティング試験 4月入学直後 筆記試験(プレイメントテスト TOEIC-IPテスト)					約30名
第2次選抜合格発表	4月上旬 本学掲示板にて合格発表					

- 創価大学入試合格者(対象は下記7つの入試)に、エントリーシートを送付します。
(送付時期 公募推薦入試:12月初旬 創価学園推薦入試:1月下旬 センター試験利用入試[前期3科目方式、4科目方式]、全学統一入試[2科目方式、3科目方式]:2月中旬 一般入試:2月下旬)
 - GCP受講希望者はエントリーシートを提出し、入試得点やエントリーシートの内容等による総合評価で第1次選抜を行います。第1次選抜合格者は、平成29年3月30日(木)に実施予定の第2次選抜に進みます。
 - 第2次選抜では、小論文試験・面接試験・英語ライティング試験を行います。これらの結果と4月入学直後の全新生に対して実施するプレイメントテスト・TOEIC-IPテストの結果を踏まえ、総合評価の上、GCPの合格者を決定(定員約30名)します。
 - 合格発表は4月上旬に本学掲示板にて行い、通常の履修登録(時間割登録)に間に合うよう期間設定しています。
 - 過年度の選抜結果はホームページをご覧ください。
- ※変更の可能性がありますので最新の情報はホームページをご確認ください。

GCP 6期生からのメッセージ 経営学部経営学科2年 鈴木 峰香 東京都 私立・創価高等学校



私は大学時代に全力で打ち込めるものに出会いたいと思いGCPに志願しました。英語を重点的に学ぶプログラムですが、情報収集能力や分析能力、プレゼンテーション能力など複数の能力を同時に伸ばすことができるプログラムだと実感しています。辛いことや苦しいこともたくさんあり、楽しいばかりの大学生活ではありませんが、どんな時も支えあえる同期の仲間に出会う機会をくれたGCPに志願したことに後悔はありません。GCPは自分の努力次第でどんなに大きな夢でも目指せるだけの実力をつけられる場所です。GCPと一緒に大きな夢を実現させましょう。

GCP 6期生からのメッセージ 理工学部共生創造学科2年 田中 健児 東京都 私立・創価高等学校



僕はGCPを一年間徹底して取り組み、英語運用能力を身につけられました。理系で英語ができることは強い武器になります。分野にもよりますが、研究が盛んにおこなわれている大学院はイギリスやアメリカに多くあり、英語習得により進学先が広がります。さらに専門科目も学べた上、GCPで英語運用能力、学際的な問題解決能力を身につけられるのは魅力的です。GCPで集中的に授業と課題があるのは2年次までで、理工学部では、1・2年次に専門科目は本格的に始まりません。大学生活の最初から世界の一流の学生と競っていけるような学びの環境がGCPには整っていると思います。

日本マイクロソフト株式会社



阿部 薫子
GCP1期生、
平成26年度文学部卒業

日本を代表する企業をお客様とし、最新IT技術でお客様の目標やビジョン達成のために自社がどのような物事を提供できるかを日々考えながら提案活動を行っています。アメリカ本社とのコミュニケーションは英語で行われます。GCPで培った「相手に伝わる英語力」や「論理的な思考」「ディスカッション能力」など、様々な力が生きていると感じる瞬間です。

また、プログラムゼミで学んだ「解のない課題に取り組む姿勢」は、毎日役に立っています。社会に出て遭遇する課題に、唯一解はほぼ無いからです。わからないながらも可能な限り課題について理解し、妥当と思われる解決策を考える。これを何度も経験したからこそ、会社においても様々な難題にも取り組むことができます。

GCPは、夢のために頑張りたい人が、120%頑張れるように応援するプログラムであり、応援する人々の集まりだと思います。入学当初、「世界を舞台に働きたい」との強い想いだけを持っていた私はGCPで、がむしゃらに勉強してきました。その努力と周囲のサポートがあったからこそ実力をつけることができました。ぜひ皆さんがGCP生として、最高の学生生活を送られることを期待しています！

東京大学大学院



中村 賢一
GCP1期生、
平成25年度工学部卒業

現在、私は東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程を終え、博士課程に在籍しています。大学院では生物海洋学を専門とし、亜熱帯海域に生息する動物プランクトンによる排泄物質循環への寄与を研究しています。語学や論理的思考力など、GCPでの学びは、研究の根幹となる英語文献の読解や論文の執筆、海外研究者との交流など、様々な場面で大いに役立っています。

卒業後は、環境省やJICA、国際機関等で、大学院で身に付けた専門性を活かし、自然環境側の立場から環境問題に取り組みたいと考えています。私が学ぶ海洋学分野で、博士課程を経て研究職に就かずに行行政・政策分野に進むのは、あまり一般的ではありません。それでも型にはまらずに自分らしい経験を積もうと思ったのは、GCPの先生方や同期の学生からの刺激や触発によるものだと感じています。GCPで得た、高い志を持つ仲間との連帯は創価大学でしか築くことのできなかつたものだと実感する日々です。受験生のみならず、GCPには充実した学習環境とともに、どこまでも切磋琢磨し合える友情があります。自分を信じて積極的に挑戦してください。

アメリカ ジョーンズ・ホプキンス大学大学院



菅原 将
GCP1期生、
平成25年度工学部卒業

私は、現在、ジョーンズ・ホプキンス大学大学院で免疫学を学び、ウイルス感染における細胞の免疫応答について研究しています。GCP時代に鍛えた英語力、ディスカッション力のお蔭で、ディスカッションの授業の中でも積極的に参加できるなど、アメリカ最高峰の大学院で勉強できるだけの実力をつけることができました。

将来は、免疫学の分野で世界に通用する研究者となり、自分の研究によって、一人でも多くの命を救うのに貢献したいと考えています。私は、有名進学校の出身で、国立大学に進学するか、創価大学に進学するか、悩んだ末、創価大学に入学しました。そして、GCP生として勉学に一心に励む中で、世界中から最優秀の学生が集まるジョーンズ・ホプキンス大学大学院に合格することができました。大学4年間に何をするかによって、自分の可能性をいくらかでも広げることができます。特に、創価大学のGCPには、自分の夢を見つけ、それを実現することのできる環境が整っています。受験生の皆さんが、創価大学のGCPに入り、世界中で活躍する姿が、私達卒業生の一番の励みになります。ぜひとも、創価大学のGCPを目指して、受験勉強頑張ってください。

先輩GCP生が答えます。

Q 国立大学と悩んでいます…

A 森 裕之 ◆ 法学部法律学科4年 福岡県 県立・東筑高等学校

私も、地元の国立大学と創価大学のどちらに進学するか悩んでいました。しかし、創価大学の先輩方と懇談し、GCPのパフレットを見た際、創価大学、そしてGCPに入ればこんなに力をつけることができ、輝くことができるのかと感じ、創価大学進学を決意しました。GCPに入ってから、先生方や共に学ぶ友人たちのおかげで、アカデミックスキルを身につけることができました。その結果の一つとして、アメリカへの交換留学を勝ち取ることができました。皆さんもぜひGCPに入り、世界で活躍できる力を手にしましょう。

Q 寮生活について

A 長塚 健汰 ◆ 工学部環境共生工学科3年 東京都 私立・創価高等学校

私は寮生として2年間を寮で過ごし、後輩のGCP生も見てきました。寮の一番の魅力は共に勉学に励む友人の存在です。私の場合、学部とGCPの両立は非常に大変だったので毎日夜遅くまで勉強していましたが、勉強漬けで挫けそうな夜も、隣で一緒に机に向かってくれた友人のおかげで、逃げずに自分のやるべきことに向き合うことができました。国際学生寮である友光寮(男子)と創春寮(女子)では、海外からの留学生の友人を作ることもできます。寝食を共にし、同じ机に学んだ友は一生の財産になります。

Q 2次試験英語対策について

A 山崎 静香 ◆ 法学部法律学科3年 茨城県 県立・日立第一高等学校

インターネットでTOEFLライティングトピックを検索し、本番と同じ時間設定で書いてみて、高校の先生に添削していただきました。時間を計って、本番同様に練習出来たので、ペース配分感覚をつかむことができました。効果的なエッセイの書き方を学ぶのに、ベレ出版の「英語で意見を論理的に述べる技術とトレーニング」という本が役に立ちました。また、「ドラゴンイングリッシュ」という教材の例文を暗記し基礎固めをしました。英検1級や国立大学2次試験の英語ライティングも形式が似ているので、その対策をしていれば準備になると思います。

Q クラブとの両立は可能ですか？

A 落合 舞子 ◆ 文学部人間学科4年 東京都 私立・創価高等学校

GCPでは、毎日の放課後の時間に特別な授業が行われます。予習・復習はもちろん、出される課題の量も多いため、勉学に専念するという意味で、1・2年次のクラブ活動は禁止となっています。ただし、3年次からは個人の関心や将来の方向性に合わせて、より自由に活動することができます。私自身、将来はCG映像の制作に携わりたいと思うようになり、3年次からは専門学校とのダブルスクールに挑戦しました。

GCP担当教員からのメッセージ



GCPディレクター
西浦 昭雄
教務部長・学士課程教育機構教授。創価大学経済学部卒業、博士(経済学)。GCPではプログラムゼミⅣ、チュートリアルA/Bを担当。専門はアフリカ経済論・開発経済学。経済学部の担当ゼミは、2014年に経済産業省「社会人基礎力を育成する授業30選」に選定される。



GCPコーディネーター
佐々木 諭
看護学部教授。創価大学法学部卒業、新潟大学大学院歯学総合研究科博士課程修了、博士(医学)。GCPでは、プログラムゼミⅠ、Ⅱ、チュートリアルAを担当。専門は国際保健学、公衆衛生学。10年間にわたり国際協力機構(JICA)専門家等としてアフリカの国際協力事業に従事。

GCPという学部横断型のプログラムは、創価大学がめざす世界市民教育のさがけとして2010年4月に開設されました。そこには世界各地で活躍する多くの方の経験と想いが凝縮されています。GCPには教育への情熱と高い実力を兼ね備えた20名を超える教職員が各学部からたすさわり、高い志をもった学生との触発のなかで、世界に多くの有為な人材を輩出し始めています。創造的な世界市民を本気でめざそうとする学生にピッタリのプログラムです。

GCPは、世界市民を目指す高い志と情熱を持った学生のためのプログラムです。GCPの学びを通して、高い英語コミュニケーション力、論理的思考力、問題解決力など世界に通用する力を習得することができます。また、日々の学びの挑戦は、目標を勝ち取る力、壁を乗り越える力、自分を信じる力、人に尽くしていく力を養ってくれます。共に励ましあい、支えあい、競い合いながら、多くのGCP生が目標を勝ち取り、社会に出てもなお夢に向かって挑戦を続けています。